◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.315　（2021年度No.34）**　 　2021/11/12

食の行政情報ならびに食中毒情報及びコロナ関係通知をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**次回は「ネズミシメジ」**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等　+東京都関係** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-10** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **10-11** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **11-16** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **16-18** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **18-26** |
| **７　[新型コロナウイルス関連情報](#新型コロナウイルス情報)　データはホームページに移行しました** |  |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

11月05日　かわら版314号・かわら版ニュース＆トピックス184号を発行。

11月05日　公開講演会資料発送完了。

11月09日　かわら版ニュース＆トピックス185号を発行。

11月12日　かわら版315号・かわら版ニュース＆トピックス186号を発行。

**公開講演会の本当の締切日は１１月１６日です**

**（ここまで申し込みが遅いと　担当としては嬉しくないけれど…）**

**この日までは何とかします**

**まだお申込みいただいていない方は　ぜひ**

**講演会受講者の方には**

**DVD資料　並びにzoomの招待メールをお送り済みです**

**まだ届いていない方は　至急事務局までお知らせください**

**新型コロナウイルス情報はホームページに移行しました**

**今後は行政情報については毎日　コロナの発生率については週一回の更新になります**

**行政情報については　今までより少し情報提供が早くなります**

**前々号あたりから食中毒が急激に増えています**

**コロナが収まった　「食中毒！」ではたまりません　ご注意ください**

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***第140回労働政策審議会安全衛生分科会議事録　2021/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22170.html>

**■***NEW***多様化する労働契約のルールに関する検討会　第９回資料　2021/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22131.html>

**■***NEW***第８回多様化する労働契約のルールに関する検討会（議事録）　2021/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22129.html>

**■***NEW***輸入食品に対する検査命令の実施　2021/11/10**

**（インドネシア産コーヒー豆、その加工品、台湾産ウーロン茶、その加工品及び中国産そば）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22101.html>

本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

自動的に生成された説明

　イソプロカルブについて

１．農薬（殺虫剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.004 mg/日です。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kg の人が、イソプロカルブが0.03 ppm残留したコーヒー豆を毎日 ８ kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

カルバリルについて

１．農薬（殺虫剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.0073 mg/日であり、急性参照用量（人が24時間または、それより短い時間の間の経口摂取により、健康に影響がないとする摂取量）は、体重１kg当たり0.01 mgです。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kg の人が、カルバリルが0.08 ppm残留したウーロン茶を毎日 5.4 kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、また、１日に 7.5 kg摂取したとしても、急性参照用量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

アフラトキシンについて

　　発がん性を有するカビ毒（アスペルギルス属の真菌により産生される）の一種。

インドネシア産コーヒー豆の違反の内容

１．品名：コーヒー豆

　　輸入者：丸紅株式会社

　　輸出者：PT.INDRA BROTHERS

　　届出数量及び重量：1,000 バッグ、59,689.70 kg

　　検査結果：イソプロカルブ 0.03 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年９月12日

　　違反確定日：令和３年９月30日

　　貨物の措置状況：全量保管中

２．品名：コーヒー豆

　　輸入者：三井物産株式会社

　　輸出者：PT. BERINDO JAYA

　　届出数量及び重量：318 バッグ、19,017.00 kg

　　検査結果：イソプロカルブ 0.02 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年９月25日

　　違反確定日：令和３年11月４日

　　貨物の措置状況：全量保管中

参考：インドネシア産コーヒー豆の輸入実績（令和２年４月１日から令和３年11月３日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

台湾産ウーロン茶の違反の内容

１．品名：ウーロン茶

　　輸入者：株式会社 YIF International

　　製造者：YEUAN YEOU ENTERPRISE CO.,LTD.

　　届出数量及び重量：２ CT、18.00 kg

　　検査結果：カルバリル 0.03 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日： 令和３年８月28日

　　違反確定日：令和３年10月８日

　　貨物の措置状況：全量保管中

２．品名：ウーロン茶

　　輸入者：日本緑茶センター株式会社

　　製造者：SONGFU TEA FACTORY

　　届出数量及び重量：90 CT、1,620.00 kg

　　検査結果：カルバリル 0.08 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：名古屋検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年10月16日

　　違反確定日：令和３年11月４日

　　貨物の措置状況：全量保管中

３．品名：ウーロン茶

　　輸入者：株式会社DHA Corporation

　　製造者：T.C.D.COMMERCIAL CO.,LTD

　　届出数量及び重量：50 PC、2.50 kg

　　検査結果：カルバリル 0.07 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：東京検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年10月21日

　　違反確定日：令和３年11月４日

　　貨物の措置状況：全量保管中

参考：台湾産ウーロン茶の輸入実績（令和２年４月１日から令和３年11月３日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

中国産そばの違反の内容

　品名：そば

　輸入者：株式会社新糧

　輸出者：OTAKI WENGNIUTE THOUSANDS XIANG INDUSTRY & TRADE CO.,LTD.

　届出数量及び重量：40 バッグ、40,000.00 kg

　検査結果：アフラトキシン 11 μg/kg検出 (基準：含有してはならない)

　届出先：横浜検疫所

　日本への到着年月日：令和３年10月12日

　違反確定日：令和３年11月４日

　貨物の措置状況：全量保管中

参考：中国産そばの輸入実績（令和２年４月１日から令和３年11月３日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

**■***NEW***食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法　2021/11/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/zanryu/zanryu3/siken.html>

**■***NEW***体外診断用医薬品自主回収のお知らせ（クラスII）　2021/11/8**

　　本日、新潟県より、別添のとおり、デンカ株式会社が下記の体外診断用医薬品（抗原簡易キット）の自主回収に着手した旨の情報提供がなされましたので、お知らせいたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

一般的名称：SARSコロナウイルス抗原キット

販売名：クイックナビTM-COVID19 Ag

回収対象数量：130,000箱（1,300,000個）

出荷時期：2020年12月14日～2020年12月25日

　　なお、本回収に係る抗原簡易キットについては、「医療機関・高齢者施設等への抗原簡易キット配布事業について」（令和３年６月９日付厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡）に基づく配布事業において、上記1,300,000個のうち1,201,300個が配布されております。配布済みの抗原簡易キットについては、厚生労働省等からデンカ株式会社に対し配布先リストの送付等を行い、費用負担も含めデンカ株式会社の責任の下で新しい抗原簡易キットの交換が行われる予定です。

　新潟県及びデンカ株式会社報道発表資料

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/000852471.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22115.html>

**■***NEW***大麻成分THCを含有する製品について　2021/11/8**

　　本年6月、一般の方から「株式会社Pharma Hemp Japan（所在地：東京都大田区）が販売しているCBD製品の中に、大麻成分THC（テトラヒドロカンナビノール）が含まれている可能性がある。」旨情報提供を受けました。このため当省では、同社の協力を得て、同社が販売するCBD製品21種類21製品（別紙をご覧ください。）の提出を受け、成分の分析を行いました。

　分析の結果、

　 　 CBD DROPS 15% HEMP SEED OIL

CBD DROPS 15% OLIVE OIL

CBD PASTE 20%

CBD PASTE 30%

CBD PASTE 40%

の５種類５製品（対象となる製品の詳細は、別紙をご覧ください。）から、微量の大麻成分THCが検出されました。

　THCを検出した製品は大麻取締法上の「大麻」に該当する疑いがある製品であることから、厚生労働省ホームページにおいて、その旨を掲載し、上記５製品が手元に残っている購入者の方々、または販売事業者の方々におかれましては、最寄りの地方厚生局麻薬取締部、都道府県衛生主管部（局）薬務主管課または保健所まで提出していただくようお願いしました。（下記URLをご参照ください。）

なお、現在までに、国内において同製品を摂取したことによる健康被害が発生した例は承知しておりません。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/other/torishimari_00002.html>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22024.html>

**■***NEW***第７回厚生労働省改革実行チーム　資料　2021/11/8**

<https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/gyouji_kaigi/kaikaku07.html>

**■***NEW***令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会（発がん性評価ワーキンググループ）　議事録　2021/11/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22122.html>

**■***NEW***厚生労働省を名乗る者からの電話にご注意ください　2021/11/5**

　　厚生労働省を名乗る者から、民間事業主に、「パワハラなどハラスメント防止の推進企業の認定制度がある。来社して説明させてほしい」と電話が入る事案が発生しています。

　　厚生労働省は、現在、ハラスメント防止に関する認定制度を創設しておりません。また、厚生労働省や都道府県労働局の職員がこのような電話をすることもありません。

　事業主の皆さまは、このような電話があっても対応をしないようにお願いします。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22091.html>

**■***NEW***令和３年10月22日　第71回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第20回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2021/11/5**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21866.html>

**■***NE**W***令和３年度　今冬のインフルエンザ総合対策について　2021/11/5**

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

**■第３回がんの緩和ケアに係る部会（資料）　2021/11/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22055.html>

**■「令和２年度 我が国における自殺の概況及び自殺対策の実施状況」（令和３年版自殺対策白書）を公表します　2021/11/2**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22022.html>

**■2021年10月８日　石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会（令和３年度第10回）議事概要　2021/11/2**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21774.html>

**■院内感染対策について　2021/11/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21747.html>

**■職場における化学物質対策について　2021/11/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/anzeneisei03.html>

**■事業所向け職場における化学物質管理に関する講習会開催のお知らせ【令和３年度事業】（オンデマンド配信）　2021/11/1**

　配信期間　2021/11/15～2022/2/28

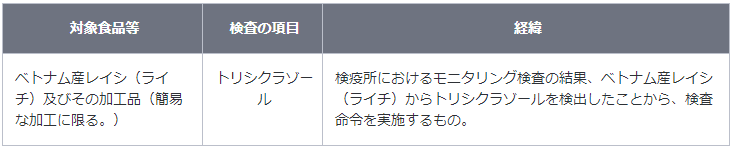
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000099635.html>

**■令和３年10月15日　第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第19回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2021/10/29**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21738.html>

**■輸入食品に対する検査命令の実施（ベトナム産レイシ（ライチ）、その加工品）　2021/10/29**

　本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。



**トリシクラゾールについて**

１．農薬（殺菌剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.05 mg/日です。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kg の人が、トリシクラゾールが0.02 ppm残留したレイシ（ライチ）を毎日 150 kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

違反の内容

１．品名：生鮮ライチ

輸入者：HAK合同会社

輸出者：VJ TRADING SERVICES.CO.,LTD.

届出数量及び重量：400 CT、2,000.00 kg

検査結果：トリシクラゾール 0.02 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

届出先：成田空港検疫所

日本への到着年月日：令和３年６月１日

違反確定日：令和３年６月15日

措置状況：一部消費済み、残余廃棄

２．品名：冷凍ライチ

輸入者：フジトレーディング株式会社

輸出者：GLOBAL EXPORT AND IMPORT FOODSTUFF JOINT STOCK COMPANY

届出数量及び重量：1,300 CT、13,000.00 kg

検査結果：トリシクラゾール 0.02 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

届出先：大阪検疫所

日本への到着年月日：令和３年10月９日

違反確定日：令和３年10月25日

措置状況：全量保管中

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21922.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２６１報）　2021/11/11**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　６件**

**No. 49　　山形県産　　コウタケ　　　　　　（Cs：140 Bq/kg）　山形市**

**No. 123　　群馬県産　　ハナイグチ　　　　　（Cs：280 Bq/kg）　草津市**

**No. 125　　群馬県産　　アカモミタケ　　　　（Cs：510 Bq/kg）　川場村**

**No. 126　　群馬県産　　クリタケ　　　　　　（Cs：110 Bq/kg）　川場村**

**No. 130　　群馬県産　　ハナイグチ　　　　　（Cs：400 Bq/kg）　中之条町**

**No. 133　　群馬県産　　チャナメツムタケ　　（Cs：350 Bq/kg）　片品村**

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　２件**

**No. 44 　　群馬県産 　　コウタケ 　　　　　 （Cs：470 Bq/kg）　川場村**

**No. 45 　　群馬県産 　　コウタケ　　　 　　（Cs：930 Bq/kg）　中之条町**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21850.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２６０報）　2021/11/4**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　１件**

**No. 559　　山梨県産 　キツネノカラカサタケ 　（Cs：150 Bq/kg）　富士吉田市**

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　５件**

**No. 1759　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：240 Bq/kg）　伊達市**

**No. 1761　　福島県産　　ツキノワグマ　　　（Cs：140 Bq/kg）　福島市**

**No. 1764　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：950 Bq/kg）　飯館村**

**No. 1768　　福島県産　　イノシシ　　　　　（Cs：340 Bq/kg）　伊達市**

**No. 1769　　福島県産　　ヤマドリ　　　　　（Cs：120 Bq/kg）　南相馬市**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21741.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２５９報）　2021/10/29**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　２件**

**No. 292　　宮城県産　　マツタケ　　　　　（Cs：160 Bq/kg）　気仙沼市**

**No. 477　　宮城県産　　ニホンジカ肉 　　（Cs：140 Bq/kg）　石巻市**

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　３件**

**No. 10　　福島県産 　 あんぽ柿　　　（Cs：200 Bq/kg）　伊達市**

**No. 34　　福島県産 干し柿　　　　（Cs：210 Bq/kg）　福島市**

**No. 41　　福島県産 干し柿　　　　（Cs：180 Bq/kg）　伊達市**

**３ 国立医薬品食品衛生研究所における検査**

**※　基準値超過　１件**

**No. 13　　長野県産　　ショウゲンジ　（Cs：920 Bq/kg）　小諸市**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21603.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.23/ 2021（2021.11.10）**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf%20)

目次

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 国際保健規則 2005（IHR 2005）の施行に関する能力の評価：年次報告書および合同外部評価のデータの比較

**【米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）】**

1. サルモネラ汚染の可能性により米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）がスティックサラミ製品に関する公衆衛生警報を発表

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. スティックサラミに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella I 4,[5],12:i:-）感染アウトブレイク（2021 年 10 月 28 日付更新情報、23 日付初発情報）

2. タマネギに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（ SalmonellaOranienburg）感染アウトブレイク（2021 年 10 月 29 日付更新情報）

3. Jule’s ブランドのチーズ代替品 cashew brie に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（Salmonella Chester、S. Duisburg、S. Typhimurium、S. Urbana）感染アウトブレイク（2021 年 7 月 7 日付最終更新）

4. 野生の鳴禽類に関連して発生したサルモネラ（Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイク（2021 年 5 月 28 日付最終更新）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 抗菌剤耐性菌による動物疾患の評価：家禽

**【英国保健安全保障局（UK HSA）】**

1. 英国の微生物学的調査の基準 （ UK SMI ： UK Standards for Microbiology Investigations）に関するガイダンス（科学的情報）

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（40）（39）

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf%20)

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.23/ 2021（2021.11.10）**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【EPA】 EPA は科学を進歩させ PFAS 汚染から地域をより良く守るための重要なステ**

**ップを発表**

米国環境保護庁（EPA）は、パー及びポリフルオロアルキル化合物（PFAS）に含まれる GenX 化合物に関する最終的なヒト健康毒性評価の結果を発表した。GenX は炭素原子6 個の「短鎖」PFAS である。EPA が GenX 化合物に対して導出した慢性及び亜慢性の経口参照用量（RfD）は、これまでに導出したパーフルオロオクタン酸（PFOA）、パーフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びパーフルオロブタンスルホン酸（PFBS）の慢性RfD よりも低かった。ただし、EPA は現在 PFOA と PFOS の毒性の再評価を行っており、それらの慢性 RfD は変更される可能性があるとしています。

**＊ポイント：** GenX は、炭素原子 8 個の長鎖 PFAS である PFOA の代替品として開発・使用されてきた短鎖 PFAS です。米国内の河川から広く検出され、動物試験において有害影響の可能性が疑われたことなどを受けて数年前から話題になっていました。現在EPA は PFAS の飲料水規制を検討しており、2022 年春に GenX や PFBS も含めた PFAS化合物に関する飲料水衛生助言（非規制）の公表、同年秋に飲料水規則原案の提示、2023年秋に最終規則の公布を予定しているとのことです。

**【CDC】 CDC は子供の血中鉛濃度参照値を更新**

米国疾病予防管理センター（CDC）は、血中鉛濃度参照値（BLRV）を 5 µg/dL から3.5 µg/dL に更新する。この値は、直近 2 回分の米国国民健康栄養調査で得られた米国の子供（1-5 才）の血中鉛濃度データ分布の 97.5 パーセンタイルに基づく。BLRV は、毒性学的閾値というわけではなく、集団の測定値から導出された値であり、個々の子供に対して医学的又は環境的なフォローアップ活動を開始すべきかの決定、また暴露への一次予防が最も必要とされる集団の優先順位付けと予防措置の有効性評価のための指針値となる。

**＊ポイント：** 2021 年 10 月 24-30 日が第 8 回国際鉛中毒予防週間だったこともあり、各国から鉛汚染への対応に関する記事が公表されています。米国では鉛塗料が使用されている建築物や、鉛を含む水道管がまだ残っていることもあり、鉛暴露への対策は国家的な課題の一つになっています。

**【EC】 二酸化チタンに関する Q&A**

2021 年 10 月 7 日に食品添加物である二酸化チタンの使用認可を取り下げるという欧州委員会の提案を EU 加盟国が了承したことを受け、今後数週間のうちに欧州議会及び理事会がこの規則案に対して意見を述べる可能性がある。反対意見が出なければ、規則案は2022 年初めに採択されると予測される。発効後の移行期間は 6 ヶ月間を予定している。

**＊ポイント：** 現在 WTO へも通知されて 12 月まで（2 ヶ月間）意見を募集中です。根拠となった欧州食品安全機関（EFSA）の評価結果を諸外国のリスク評価機関がレビューしているところですが、それらの結論が公表される前に EU では認可取り下げとなり、貿易にも影響が出るかもしれません。

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123c.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第８39回）の開催について　2021/11/11**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和3年11月16日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・動物用医薬品 １品目

　　　　鶏コクシジウム感染症(ブルネッティ・ネカトリックス)混合生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒２価生ワクチン（BN))（農林水産省からの説明）

　　　・遺伝子組換え食品等 １品目

　　　　DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ（厚生労働省からの説明）

（２）ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループにおける審議結果について

　　　・「Ｌ−酒石酸カルシウム」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・食品衛生法第１３条第３項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（対象外物質）「アブシシン酸」に係る食品健康影響評価について

　　　・農薬「エトフェンプロックス」に係る食品健康影響評価について

（４）令和４年度食品安全モニター募集について

（５）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、11月15日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、11月16日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***薬剤耐性菌の食品健康影響評価に関する情報　2021/11/2**

<https://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/amr_wg/amr_info.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和3年10月9日から令和3年10月22日）2021/11/8**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2021&from\_month=10&from\_day=9&to=struct&to\_year=2021&to\_month=10&to\_day=22&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2021&from_month=10&from_day=9&to=struct&to_year=2021&to_month=10&to_day=22&max=100%20)

**４．****<農水省関係>**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***「令和3年度病害虫発生予報第9号」の発表について　2021/11/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/211110_11.html>

**■***NEW***米国への日本産メロンの輸出が可能となります　2021/11/10**

　米国は日本産メロンの輸入を禁止していましたが、植物検疫当局との協議を重ねた結果、今般植物検疫条件に合意し、11月8日（月曜日）から、輸出が可能となりましたので、お知らせします。

　1.概要

米国は、日本産メロンについて、米国が侵入を警戒する病害虫が我が国で発生していることを理由に、これまで輸入を禁止していました。

農林水産省は、産地からの要望を踏まえ、メロンの輸出が可能となるように、米国の植物検疫当局と技術的協議を積み重ねてきました。その結果、今般、日本産メロンに関する植物検疫条件に合意し、令和3年11月8日付けでこの条件を満たす日本産メロン生果実の輸出が可能となりました。

主な植物検疫条件は以下のとおりです。詳細は別添概要をご覧ください。

(1)植物防疫所による輸出検査を受け、スイカ緑斑モザイクウイルスの付着がないことが確認されること

(2)米国側で輸入検査を受けること

2.参考

米国への輸出を検討される方は、最寄りの植物防疫所にお問い合わせいただくようお願いいたします。

植物防疫所ホームページ

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/outline/index.html>

添付資料

米国向け日本産メロン生果実の輸出検疫条件の概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/attach/pdf/211110-2.pdf>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/211110.html>

**■***NEW***秋田県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について　2021/11/10**

　　本日（11月10日（水曜日））、秋田県横手市の採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：秋田県横手市

飼養状況：採卵鶏(約14.3万羽）

2.経緯

（1）昨日（11月9日（火曜日））、秋田県は、同県横手市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（11月10日（水曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211110.html>

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/9**

　　農林水産省は、11月8日（月曜日）に英国のウォリックシャー州、ウスターシャー州及びグロスターシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のウォリックシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域がウスターシャー州及びグロスターシャー州に及んだ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月8日（月曜日）にウォリックシャー州、ウスターシャー州及びグロスターシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

※ 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

令和2年11月4日付けプレスリリース「英国からの生きた家きんの一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201104.html>

令和2年11月27日付けプレスリリース「英国からの生きた家きんに関する一時輸入停止措置のコンパートメント主義を適用した一部解除について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201127_8.html>

令和3年11月8日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211108.html>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211109.html>

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/8**

　　農林水産省は、11月2日（火曜日）に英国のクルイド州、ポーイス州及びシュロップシャー州からの、11月4日（木曜日）に同国のアンガス州からの家きん肉等の一時輸入停止措置をそれぞれ講じました。

1.経緯

英国のクルイド州及びアンガス州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。 また、クルイド州での発生に伴い設定された制限地域がポーイス州及びシュロップシャー州に及んだ旨、同国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

OIEへの通報及び英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月2日（火曜日）にクルイド州、ポーイス州及びシュロップシャー州から、令和3年11月4日（木曜日）にアンガス州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは、引き続き一時輸入停止措置をしています。

※ 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211108.html>

**■***NEW***オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2021/11/5**

　農林水産省は、令和3年11月4日（木曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダのフリースラント州の家きん飼養農場において、新たに高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月4日（木曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、本発生が確認された第3番の区域及び本発生に伴い設定された制限地域が及んだ第1番の区域。

（※2） 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211105.html>

**■***NEW***フランスのピレネー・アトランティック県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2021/11/5**

　　農林水産省は、今般、フランスのピレネー・アトランティック県における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

フランスのオート・ピレネー県において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域がピレネー・アトランティック県に及んだことから、令和3年1月以降、ピレネー・アトランティック県からの生きた家きん、家きん肉等について輸入を一時停止していました。その後、当該県においても高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。

2.対応

今般、フランス家畜衛生当局から我が国に提供された鳥インフルエンザの防疫措置応の情報により、発生が確認された当該県の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付で当該一時輸入停止措置（※）を解除しました。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211105_2.html>

**■***NEW***国際原子力機関（IAEA）との共同事業の一環として実施する水産物採取について　2021/11/5**

　　国際原子力機関（IAEA）は、11月10日（水曜日）から11日（木曜日）まで、福島県沖の水産物の採取及び処理の確認を行います。

今回は、国際原子力機関（IAEA）環境研究所の2名に加え、更なる信頼性の確保のため、フランス、韓国、ドイツの第三国の分析機関から各1名の計5名が参加します。

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/211105.html>

**■***NEW***海外貨物検査株式会社における不適正な農産物検査に対する措置について　2021/11/5**

　　農林水産省は、農産物検査法（昭和26年法律第144号。以下「法」という。）に基づく登録検査機関である海外貨物検査株式会社（東京都中央区日本橋兜町15番6号。法人番号5010001040519。以下「海外貨物検査（株）」という。）が、法に違反し、瑕疵ある農産物検査等を実施していたことを確認しました。

このため、本日、海外貨物検査（株）に対し、適正な農産物検査の実施及び法の遵守の徹底等を旨とする法第23条に基づく改善命令を行いました。

1.経過

農林水産省（消費・安全局及び関東農政局）は、令和3年10月11日及び15日に、海外貨物検査（株）に対し、法第31条第2項に基づく立入調査を実施しました。

この結果、海外貨物検査（株）において、少なくとも平成29年7月13日から令和3年8月17日までの間に実需者から検査請求された外国産精米5,921,629キログラム（28件）について、農産物検査法施行規則第6条第2項に定める品位等検査の検査方法による標準計測方法に基づく土砂分析を行うことなく、検査証明書を交付したこと、また、上記の行為について、農産物検査員が内部監査での報告を怠っていたことを確認しました（別表参照）。

2.措置

海外貨物検査（株）が行った上記1の行為について、農産物検査員が不適正な行為であることを認識しながら土砂分析を行わずに検査証明書に数値を記載し交付していたことは、法第13条第1項の規定による検査証明書への記載が不適当である場合に該当し、また、農産物検査員が不適正な行為を認識したにもかかわらず、内部監査での報告を怠っていたことは法第20条第2項に違反するものです（別紙参照）。

このため、法第23条に基づく改善命令を行うこととし、令和3年10月21日に行政手続法第13条第1項第2号の規定に基づき海外貨物検査（株）に対し弁明の機会を付与したところ、同月25日に弁明しない旨の文書の提出がなされたため、本日、農産物検査の方法その他の業務の改善に必要な以下の命令を発出しました。

（改善命令の内容）

(1) 直ちに貴機関において、農産物検査の実施が適正に行われているかを点検し、不適正な行為が確認された場合は、直ちにこれを是正すること。

(2) 今後、実施する全ての農産物検査について、法及び農産物検査業務規程に従い適正に行うよう、貴機関に所属する農産物検査員及び全役職員に対し啓発を行い、その遵守を徹底させること。

(3) 今般の不適正事案の発生原因を究明・分析し、その結果を踏まえ、貴機関における農産物検査の適正な実施に関する責任の所在を明確にし、法令遵守のチェック体制の再構築・強化等の再発防止策を講じること。

また、不適正事案に関与した農産物検査員に農林水産省農産局が実施する業務改善研修を受講させること。

(4) (1)から(3)までに基づき講じた措置について、令和3年12月6日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

　　＜添付資料＞

　　別表 検査件数及び検査数量　<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/attach/pdf/211105-1.pdf>

別紙 農産物検査法（抜粋）　<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/attach/pdf/211105-2.pdf>

参考 海外貨物検査株式会社の概要　<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/attach/pdf/211105-3.pdf>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/211105.html>

**■オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2021/11/4**

　　農林水産省は、令和3年11月4日（木曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダの北ホラント州の家きん飼養農場において、新たに高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月4日（木曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、本発生に伴い設定された制限地域が及んだ第9番の区域。なお、本発生が確認された第2番の区域については、令和3年11月1日付けで輸入を一時停止しています。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211104.html>

**■デンマークからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/4**

　　農林水産省は、令和3年11月4日（木曜日）、デンマークからの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

デンマークの家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、デンマーク家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月4日（木曜日）、デンマーク全土からの家きん肉等の輸入を一時停止しました。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211104_3.html>

**■ドイツのブランデンブルク州からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/4**

　　農林水産省は、令和3年11月4日（木曜日）、ドイツのブランデンブルク州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ドイツのブランデンブルク州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、ドイツ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月4日（木曜日）、ブランデンブルク州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和3年10月25日（月曜日）、同国シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生を受け、ドイツ全土からの輸入を停止しています。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211104_4.html>

**■オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2021/11/2**

　農林水産省は、令和3年11月1日（月曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダの北ホラント州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの通報を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月1日（月曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、第2番の区域

（※2） 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211102.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***鳥インフルエンザに関する情報について　2021/11/10**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_safety/caution/caution\_012/#d211110](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_012/%23d211110)

**■***NEW***株式会社アクガレージ及びアシスト株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令につい**

**て　2021/11/9**

消費者庁は、本日、株式会社アクガレージ及びアシスト株式会社に対し、同社が供給する「ジュエルアップ」と称する食品及び「モテアンジュ」と称する食品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

　株式会社アクガレージ及びアシスト株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_20211109_01.pdf>

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/026513/>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★ドン・キホーテ（MEGAドン・キホーテ津桜橋店）「なんこつ入り鶏生だんご」 - 返金／回収　アレルゲン表示、原材料表示、栄養成分表示の欠落　2021/11/11**

**★天平フーズ（イオンモール橿原）「スイートポテト（粒餡）、どらやき（芋餡）、芋蒸し饅頭」 - 返金／回収　消費期限表示の誤表記（誤：2021.01.09、正：2021.11.09）　2021/11/10**

**★戸田乳業「SAIGYOKU 梨サイダー」 - 回収　硝子が混入している可能性あり　2021/11/10**

**★ヤマムロ「麻辣香鍋」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/11/9**

**★イオン「トップバリュ モッツァレラチーズ」 - 返金／回収　シール不良により賞味期限内の一部の商品でカビの発生がみられたため　2011/11/9**

**★宮久保出荷組合「みつば」 - 回収　農薬プロシミドンが基準値を超えて検出されたため**

**2021/11/9　全号のかわら版に詳細掲載**

**★フィールコーポレーション（フィールもも山店）「豚ミンチ、ほか3商品」 - 返金／回収　スライサーの刃の一部（9㎜×1㎜）が混入しているおそれ　2021/11/9**

**★そごう・西武（池袋本店）「お徳用めんたい切子、ほか7商品」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22年、正：21年）　2021/11/8**

**★名鉄協商「オレンジマーマレード、レモンマーマレード、ストロベリージャム、レッドフルーツジャム」 - 返金／回収　カビによる汚染　2021/11/8**

**★やおきん「きなこ棒、きなこ飴」 - 返金／回収　当該賞味期限の一部にてカビによる汚染　2021/11/8**

**★味の素AGF「「ブレンディ　カフェラトリー」スティック　濃厚キャラメルマキアート」 - 返金／回収　原料の計量違いにより風味が異なる商品がある事が判明　2021/11/8**

**★ローソン「素焼きミックスナッツ」 - 返金／回収　本来、食塩不使用のところ、誤って食塩を使用したカシューナッツを使っていたことが判明　2021/11/5**

**★イオンマーケット（ピーコックストア東小金井店）「国産豚ばらしゃぶしゃぶ用、ほか3商品」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：2021年11月2日、正：2021年11月1日）　2021/11/5**

**★オーケー（東戸塚店）「チキンケバブライス」 - 返金／回収　加熱調理不足による鶏肉の生焼けが確認された商品が含まれるため　2021/11/5**

**★原パン工房「バゲット、パンコンプレ、リュスティック」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：2021年11月24日、正：2021年10月24日）　2021/11/5**

**★GSコーポレーション「阿蘇あか牛ハンバーグ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：23.03.30、正：22.03.30）　2021/11/5**

**★よっちゃん食品工場「味付いかみみ 57g」 - 回収　アレルゲン「いか」の表示欠落　2021/11/5**

**★井桁堂「スティックフィナンシェ すいーとぽてと」 - 返金／回収　賞味期限内の商品の一部にカビの発生を認めたため　2021/11/5**

**★名本和芳「大根塩漬け」 - 返金／回収　甘味料（サッカリンナトリウム）使用基準違反　2021/11/4**

**★カメヤ食品「国産とまとドレッシング」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/11/4**

**★神戸物産「シュガーコーンフレーク」 - 返金／回収　原材料表示等（一括表示)が包装と重なり、一部隠れて見えないため　2021/11/4**

**★埼北水産「ボラの卵」 - 返金／回収　基準値を超えるディルドリンが検出されたため（0.02ppmを検出）　2021/11/4**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■青森山田中学校と高校の寮生131人が食中毒　すでに全員が回復**

**11/5(金) 18:55配信　ABA青森朝日放送****青森県青森市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6debab8d28622af0216c0f77bb09cb289d1a5ffb>

**青森山田中高、寮生ら131人食中毒　ウエルシュ菌検出**

**11/5(金) 19:07配信　毎日新聞　青森県青森市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6ad24814f04a03ea7a831b75da9b33514f972ae0>

**食中毒の発生について　2021/11/5　青森県青森市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.city.aomori.aomori.jp/hoken-yobou/fukushi-kenkou/kenkou-iryou/syokuhin-eisei/oshirase/documents/press031105.pdf>

１ 概要

（１）令和３年１０月３０日（土）午前１０時頃、青森山田高等学校事務局から「本校の寮生の中で、昨日夜から本日の朝にかけ、１００名を超える体調不良者が発生している。」と、青森市保健所に報告があった。

（２）調査の結果、発症者は青森山田中学校及び青森山田高等学校の寮生計１３１名であり、いずれも山田高校生徒会館を利用後、下痢、腹痛等の症状を呈していることが判明した。

（３）市保健所は、次のことから、本件について、当該施設で提供された食品を原因とするウエル シュ菌による食中毒と断定した。

①発症者の症状及び発症状況が共通しており、ウエルシュ菌による食中毒症状と合致すること

②発症者を診察した医師が食中毒と診断していること

③発症者の共通食が当該施設で提供された食品に限られること

２ 発生日　令和３年１０月２９日（金）（初発発症者の発生日）

３ 喫食者数　約４５０名

４ 発症者数 １３１名

テーブル

自動的に生成された説明

※なお、現時点で１３１名全員が軽快している５ 主な症状　下痢、腹痛 等

６ 原因施設

屋 号：山田高校生徒会館

業 種：飲食店営業（寮生に対する給食業務を受託し朝夕３８０食・昼４５０食程度を提供）

７ 原因食品　令和３年１０月２９日（金）に提供した食品

８ 病因物質　ウエルシュ菌（発症者複数名の便から検出された）

９ 行政処分

令和３年１１月５日（金）、市保健所は食品衛生法第６０条第１項に基づき、上記営業者に対し、１１月５日（金）から７日（日）まで３日間の営業停止を命じた。

なお、当該施設は１０月３０日（土）の昼食から営業を自粛している

**■食中毒事件の発生　2021/11/11　長崎県　長崎市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2021/11/1636600304.pdf>

　　標記の件について長崎市内の飲食店を食中毒の原因施設として断定し、行政処分を行ったので、下記の通りお知らせします。

１． 事件の探知

令和 3 年 11 月 3 日(水)12 時 30 分頃、市内の会社員より、「居酒屋で会食に参加した複数名が発熱、下痢症状を呈している」との情報提供を受け、探知した。

２． 事件の概要

10 月 29 日（金)夜に当該施設を利用した 1 団体の 6 名中 2 名が発熱、腹痛、下痢等の症状を呈していることが判明した。

調査の結果、有症者 2 名の便からカンピロバクターが検出されたこと、共通食が当該施設で提供された食事(焼き鳥、ささみのたたき、唐揚げなど)のみであること等から、当該施設で提供された食事を原因とする食中毒事件であると断定し、食品衛生法違反として営業停止処分を行った。

３． 発症年月日 1 例目 : 令和 3 年 10 月 31 日(日) 20 時

2 例目 : 令和 3 年 11 月 1 日(月) 10 時

４． 症状 発熱、腹痛、下痢など

５．有症者の状況 有症者数： 2 名

男性 2 名(2 名とも 24 歳)うち入院者 1 名

※入院者は既に退院しており、2 名とも治癒または快方に向かっている。

６． 原因施設 営業所の名称 ： 朝びき焼鳥かおん 飲食店営業(一般食堂)

７． 原因食品 当該施設において調理、提供された食品

８． 病因物質 カンピロバクター

９． 措置状況 違反事項 ： 食品衛生法第 6 条違反

行政処分 ： 営業停止 2 日間

（令和3年11月11日～令和3年11月12日）

今後の対応 ： 事件再発防止のため営業停止をした期間内に食品衛生監視員による従業員の衛生教育等を行う。

　１０．食中毒発生状況（令和 3 年 11 月 11 日（木）現在、本件を含まず）

テーブル

自動的に生成された説明

**■公表中の情報など　2021/11/9　豊島区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.toshima.lg.jp/217/kurashi/ese/shokuhin/1502191311.html>

　1.公表年月日　令和3年11月9日

2.業種　飲食店営業

3.施設の名称　炭火焼鳥　勇

5.主な適用条項 食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）。以下「法」という。）第6条の規定に違反するので、法律第55条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

6.不利益処分等を行った理由　食中毒

7.不利益処分等の内容

営業等停止期間：令和3年11月9日から11月11日まで（3日間）

　　なお、営業者は11月4日から営業を自粛しています。

8.備考

原因食品：当該施設が提供した食事（加熱不十分な鶏肉を含む）

原因物質：カンピロバクター・ジェジュニ

患者数：4名

**■カンピロバクターによる食中毒　熊本市の飲食店、２日間営業停止**

**熊本日日新聞 | 2021年11月08日 10:45　熊本県熊本市**

**カンピロバクター**

<https://kumanichi.com/articles/461552>

**【報道資料】熊本市内の飲食店での食中毒発生に伴う営業停止処分について**

**最終更新日：2021年11月8日　熊本県熊本市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=38478&class_set_id=2&class_id=3525>

<https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=38478&sub_id=1&flid=275415>

**令和３年（2021 年）１１月６日**

**熊本市内の飲食店での食中毒発生に伴う営業停止処分について　熊本県熊本市**

**カンピロバクター**

本日、食中毒発生に伴い飲食店への営業停止処分を行いましたので、お知らせします。

１ 概要

（１）探知　令和３年（2021 年）１０月３０日（土）１８時２０分、熊本県健康危機管理課か　　　　ら「１０月２６日（火）に熊本市内の飲食店を阿蘇保健所管内の住民１名を含む５名で利用し、３名が体調異常を呈しており、そのうち１名が医療機関に入院している。」との連絡がありました。

（２）調査　当該グループは知人５名で、１０月２６日（火）２０時頃から当該飲食店で食事をしており、１０月２８日（木）から１０月２９日（金）までに３名が腹痛、下痢、発熱などの症状を呈していることが判明しました。

（３）決定　有症者３名の共通食は、当該飲食店での食事のみであり、また、有症者の検便検査結果、有症者の喫食状況や発症状況、当該飲食店での調理状況から、この飲食店の食事を原因とする食中毒と断定し、この飲食店に対して営業停止を命じました。

２ 有症者の状況

（１）発症日時 令和３年（2021 年）１０月２８日（木）１０時（初発）

（２）主な症状 腹痛、下痢、発熱

（３）喫食者数 ５名

（４）有症者数 ３名 内訳：男性２名・女性１名（年齢２２歳～２６歳）

（５）その他 医療機関受診者３名（入院者１名）　有症者は快方に向かっています。

３ 原因食品 １０月２６日（火）に当該飲食店で提供された食事（加熱不十分と思われる鶏肉料理を含む）（２０時頃喫食）

４ 病因物質 カンピロバクター

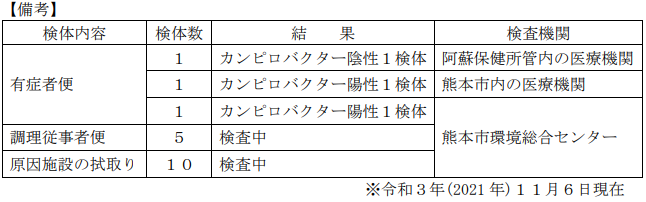
５ 原因施設

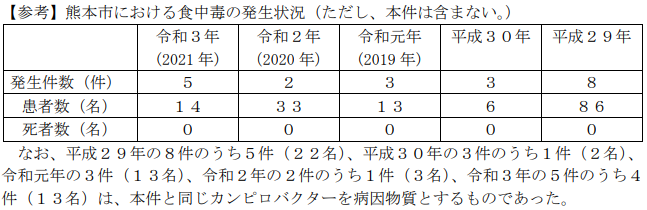
（１）名称（屋号・商号） マル 忠

（２）業種 飲食店営業（一般食堂）

６ 措置等

営業停止 令和３年（2021 年）１１月６日（土）から１１月７日（日）までの２日間





**■南風原の飲食店　男女３人食中毒　３日間営業停止**

**2021年11月5日 05:00　沖縄タイムズ　沖縄県南南風原町**

**カンピロバクター**

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/858506>

**■食品衛生法違反者を公表します　2021/11/5　目黒区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/oshirase/shokuhineiseiihan211105.html>

　公表年月日　令和3年11月5日

施設の名称　TORIYAKI　SOBA　なゝ樹

営業の種別　飲食店営業

適用条項　食品衛生法第6条第3号違反により、改正前の食品衛生法第55条を適用（食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律第2条の規定による）

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容　営業停止命令

令和3年11月5日から令和3年11月11日までの7日間

備考　患者数　 　4人

主な症状　腹痛、下痢、発熱等

病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

原因食品　令和3年10月23日に調理提供した料理

**★ウイルスによる食中毒★**

**■焼き肉店で高校生２１人が食中毒症状、７人からノロウイルス検出…３組４４人で食事**

**11/8(月) 7:48配信　読売新聞オンライン　大阪府池田市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/39567370e44c96eaedfa9ede662d8a1865471c56>

**食品衛生法違反事例について　2021/11/7　大阪府池田市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=42936>

提供日　2021年11月7日

提供時間　19時30分

内容

次のとおり食中毒が発生し、池田保健所が営業者に対し、原因施設での３日間の営業停止処分を行いましたのでお知らせします。

１　原因施設：じゅじゅ庵石橋店　業種：飲食店営業

２　経過

○令和３年１１月４日（木曜日）午後１時２０分

　池田保健所に府内学校の教諭から「１１月２日（火曜日）に本校の生徒３０名が池田市内の飲食店を利用したところ、１１名が下痢、嘔吐、腹痛等の症状を呈している。」と連絡があった。

　また、上記グループとは別のグループも同様に食中毒様症状を呈していることが判明した。

○同日、池田保健所は患者らが利用した施設の調査、患者らへの聞き取り調査等を実施した。

○１１月７日（日曜日）

　調査の結果、調査できた３グループ４４名が上記施設を１１月２日に利用した後、数十名が食中毒様症状を発症していることが判明した。

　患者らに共通する食事は当該施設で提供された食事以外にないこと、患者らの発症状況が類似しており、感染症事象がなかったこと、患者便７検体及び調理従事者便１検体からノロウイルスが検出されたことから、食中毒と断定した。

３　患者の状況

（１）発症日時：１１月３日（水曜日）７時から１１月５日（金曜日）６時半まで

（２）調査数：３グループ　４４名

（３）患者数：２グループ　２１名［男性１２名（１６歳から１８歳）、女性９名（１６歳から１７歳）］

　　　　うち受診者数：５名（０名入院）［男性３名（１７歳）、女性２名（１６歳、１７歳）］

（４）検査結果：患者便及び調理従事者便からノロウイルスを検出

　　　　　　　（その他食中毒菌については現在検査中）

（５）主症状：腹痛、下痢、発熱等

　　　　　　　※患者はいずれも快方に向かっています。

４　措置内容

　池田保健所は本日、当該営業者に対し、１１月７日（日曜日）から１１月９日（火曜日）まで３日間の営業停止を命じました。

　違反理由：食品衛生法第６条第３号違反（食中毒の発生）

５　ノロウイルスについて

　ノロウイルスに感染すると、おう吐、下痢、腹痛等の症状が現れます。特に子どもや高齢者の場合は重篤化することもあり、注意が必要です。

　ノロウイルスによる食中毒を防ぐために、以下の注意点を守ってください。

（１）調理の前後、トイレの後、食事の前などは、石けんを十分泡立てて流水で手をしっかりと洗いましょう。

（２）加熱が必要な食品は中心部までしっかりと加熱しましょう。

（３）まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用後すぐに洗うとともに、熱湯（８５℃以上）で１分以上加熱しましょう。

　　　また、加熱の代わりに塩素系漂白剤で浸すように拭くことも効果があります。

（４）調理に携わる人は、体調管理に努め、下痢・吐き気等の症状がある場合は食品に触れる作業をしないようにしましょう。

（５）ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。患者のおう吐物は、乾燥する前に塩素系漂白剤を浸した新聞紙等でそっと覆い、静かに拭き取りましょう。おう吐物が付着していた床等も塩素系漂白剤で拭き取り、作業が終わった後はていねいに手を洗いましょう。

（検査の技術的な事柄等に関するお問い合わせ先）

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所　公衆衛生部健康危機管理課

電話：０６－６９７２－１３２７

**★寄生虫による食中毒★**

**■不利益処分等のお知らせ　2021/11/10　港区**

**アニサキス**

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shokuhinkanshi1/kurashi/shokuhin/anzen/kyoka.html>

　公表年月日　令和３年１１月１０日

業種等　飲食店営業（\*注１）

施設の名称　磯丸水産六本木店

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

原因食品　令和３年１０月２９日に調理し、提供された刺身

原因物質　アニサキス

主な適用条項　食品衛生法第6条第3号の規定に違反するので改正前同法第５５条第１項（\*注２）を適用

不利益処分等の内容及び停止を命令する営業の内容

不利益処分の内容　令和３年１１月１０日（１日間）の営業の一部停止命令

停止を命令する営業の内容　生食用鮮魚介類(冷凍品を除く。)の調理、提供。

なお、冷凍品とは－２０℃以下で２４時間以上の冷凍をしたものをいう。

備考　公表時の患者数：１名

アニサキスは海産哺乳動物を終宿主とする寄生虫です。サバ、イワシ、アジ、サンマ、スルメイカ等の魚介類には幼虫のままで寄生します。アニサキス症はアニサキスが寄生した魚介類を生食することにより感染し、多くが８時間以内に激しい腹痛や吐き気、嘔吐等の症状を引き起こします。アニサキスは酢やわさび、しょうゆでは死にませんが、－２０℃で２４時間以上の冷凍又は加熱により食中毒を防ぐことができます。

(\*注１)令和元年政令第１２３号の附則第２条の規定により、なお従前の例による営業

(\*注２)平成３０年法律第４６号の第２条の規定による改正前の食品衛生法

**★自然毒による食中毒★**

**■知人がくれたのは『毒キノコ』だった…夕食で食べた家族4人が下痢や嘔吐等 “ツキヨタケ”と判明　11/8(月) 18:40配信　石川テレビ　石川県金沢市**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b4a6fbcae88a6dd4828ebaa5eb014a138a51ab10>

**キノコによる自家食中毒事故の発生について　2021/11/8　石川県金沢市**

**植物製自然毒　ツキヨタケ**

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/18187/1/211108_pressrelease.pdf?20211108133017>

１ 発生年月日 令和３年 11 月６日（土）

２ 発 生 場 所 金沢市内の家庭

３ 発生の端緒 令和３年 11 月６日 21:45 頃、金沢市内の医療機関から「キノコを調理して食べた金沢市在住の家族が、嘔気、嘔吐、下痢等の症状を呈し受診した。ツキヨタケによる食中毒ではないか。」との連絡が、金沢市保健所にあった。

４ 調 査 内 容 調査の結果、

・11 月６日に、知人から「ヒラタケ」として譲り受けたキノコを、炒め物にして、同日 17:30 頃、家族４名で喫食したところ、18:30頃から、全員が嘔気、嘔吐、下痢等の症状を呈した。

・患者が保管していた残品を確認したところ、形態等からツキヨタケ（推定）と確認した。

５ 患 者 数 等 男性２名（80 歳代、20 歳代）女性２名（70 歳代、50 歳代）

４名全員が医療機関に受診したが、入院はしていない。現在は、全員が回復傾向にある。

６ 主 な 症 状 嘔気、嘔吐、下痢等

７ 原 因 食 品 ツキヨタケ（推定）（植物性自然毒）

**■大分県佐伯市の女性がクワズイモで食中毒発症　大分県が注意呼びかけ**

**11/5(金) 19:19配信　OBS大分放送****大分県佐伯市**

**植物性自然毒　クワズイモ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4ef3e3641a3e490665e4d35a54bc7dc1bcf0643c>

**ハスイモにそっくり!「クワズイモ」で食中毒　大分**

**11/5(金) 20:16配信　フジテレビ系（FNN）　大分県佐伯市**

**植物性自然毒　クワズイモ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/60ad567c5eeb8409bde78051c9a3221499882096>

**食中毒発生状況（令和３年）　2021/11/5　大分県佐伯市**

**植物性自然毒　クワズイモ**

<https://www.pref.oita.jp/site/suishin/r3tyudoku.html>

発生場所　佐伯市

　発生月日　１１月１３日

　摂食者数　１名

　患者数　１名

　病因物質　植物性自然毒

　原因食品　クワズイモ

　原因施設　家庭（自炊）

**★化学物質による食中毒★**

**★細菌による感染症★**

**■津の男子高校生がO157　伊勢新聞　11/6(土) 11:00配信　三重県津市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c01862f18f666c08bcdada87cf579f65c1c11f36>

**★ウイルスによる感染症★**

**■海南市のこども園でノロウイルス　2021-11-06（土） 18:58**

**WTVニュース　和歌山県海南市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.tv-wakayama.co.jp/news/detail.php?id=66500>

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/11/5　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/6/3/6/2/9/2/_/031105-04ityouen.pdf>

　上川保健所　保育所：42名　ノロウイルス

　1.発生の探知　2021/11/１に上川保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、発熱などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　上川保健所管内の保育児をの園児34名及び職員８名の計42名が、10月25日から11月2日にかけておう吐、下痢。発熱などの症状を呈し、うち２２名が医療機関を受診した。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　11月5日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　10月25日～11月2日　おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

　　11月1日　　　　　　　　保育所から保健所に通報

　　11月2日　　　　　　　　保健所において、有症者5名の便を検査した結果、5名全員からノロウイルスを検出

　5.感染経路　現在調査中

**■ノロウイルス集団感染か 旭川などの３保育所で計１２０人余**

**11月05日　18時23分　北海道 NEWS WEB**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20211105/7000039932.html>

**■マダニ媒介ＳＦＴＳが１人　熊本県感染症情報**

**11/4(木) 17:59配信　熊本日日新聞　熊本県宇城市**

**感染症　マダニ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4935f51440a9c887811404b82981f84f62e75c51>

**★その他の感染症★**

**★違反食品★**

**★その他関連ニュース★**

**■インフルエンザ、9府県から計20人の報告 - 厚労省が1週間の発生状況を公表**

**11/5(金) 15:15配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a0c9f3f0e6cddaf7eddd09dc1741673102da6ab6>

**■【感染症情報】手足口病が減少に転じる - ヘルパンギーナは過去10年同期比で最多**

**11/4(木) 13:45配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3e134969e746019b0ac9cb06e087e3df3810e7f1>

**■市販のアロマスプレーで熱帯感染症、米ＣＤＣがリコール対象拡大**

**11/4(木) 11:39配信　CNN.co.jp**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ea3ea52bcf0600cd42bea555fb6f065f81ec56c5>

**7.** **[新型コロナウイルス情報](#新型コロナウイルス情報)**

**★新型コロナウイルス特集データ★**

**新型コロナウイルス情報はホームページに移行しました　今後は行政情報については毎日　コロナの発生率については週一回の更新になります**

**★***Link*　**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>